



西山形 コミスクだより



令和5年 10月
西山形小学校
運営協議会
事務局
NO.1

前期の教育活動を振り返る

地域や保護者の皆様のご協力により、無事、前期の教育活動を終えることができました。おかげさまをもちまして、校内外の教育資源をフル活用して学習の質の向上を図ることができました。前期の主な教育活動を振り返ります。

【成果】学校運営基本方針に基づいて、豊かな体験活動に取り組むことができました。

方針1：五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。

方針3：西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。



一学年 生活科「草花遊び」
七月七日キラキラランドにある竹の笹を使って、笹舟を作ったり、草相撲をしたりしました。季節の変化を体感し、身近な自然を利用して遊ぶ楽しさを、地域の先生から教わりました。



二学年 生活科「地区探検」
六月と七月にかけ、計四回「地区探検」に出かけました。地域の先生方に教科書には載っていない地域のよさについて教わりました。多くの気付きがあり、西山形地区への愛着が更に高まりました。



三学年 総合学習「富神山について調べよう」
七月十日に、バスを使って富神山周辺を探索しました。地域の先生から、富神山のことについて教わり、西山形のシンボルの山であることを改めて確認することができました。

裏面に続きます。



四学年 総合「福祉」 七月から継続して「福祉」について学習しています。車椅子等体験や障がいのある方との交流等を通して多くの学びがありました。この学びを生かして後期、西山形の「とかみ共生苑」に訪問します。



五・六学年 総合「西山形の特産物を知ろう」毎年、柏倉在住の西村様のご厚意でスモモの摘花・収穫作業を体験し、全校生でそのスモモを食すスモモ給食を実施しています。五・六年生が二つの体験活動を行いました。

とかみ学習支援コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の鬼島悦雄先生に、地域の「人」「物」「イベント」等を紹介していただいたり、繋いでいただいたりしました。各教員は、コミュニティ・スクールのメリットを最大限活用し、「こんな学習を展開したい!」という思いや願いを実現することができています。鬼島先生のお力で、教員は授業の準備の負担を軽減することができています。

方針2:「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。



一人一台のタブレットや今年度から導入された電子黒板とAI型ドリルソフト(高学年)を使って、これまで以上に個に応じた学習が展開できるようになりました。児童個々のニーズに応じた学習を更に展開できるよう教員の研修を進めています。

方針5:教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

昨年度から本格実施した「カリキュラム・マネジメント」を機能させ、教員が見通しをもって上記で紹介した豊かな体験活動等を準備・実施しています。教育も「段取り八分、仕事二分」が大切であることを再認識しています。

【課題】

方針4:隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。

これまでの懸案事項であった学校・コミセン・学童が連携した学習活動等をどう仕組んでいくかについて、今年度も引き続き熟議を継続していきます。今年度新たに、学校運営協議会の委員に学童クラブの支援員さんに入っていました。